

***親子で納得

ニュースな経済学

経済ジャーナリスト・内田裕子

いま、ニュースではアメリカの銀行が大変だと、伝えています。どうして大変かという「資本」が足りないからです。資本って何でしょう。資本は会社の「元になるお金」。その会社の「資本金」を見れば、会社がどれくらいの規模なのか分かります。おうちの人の会社の資本金はどれくらいかな。ぜひ聞いてみましょう。

会社を始めるとき、資本金を用意するルールになっています。大きい会社はたくさんの人からお金を集めて資本金にします。それを元手にして会社が成功してお金が増えたら、お金を出してくれた人たちに「配当金」をあげます。反対に会社が失敗して大きな損を出したら、資本金で穴を埋めることになるのです。いま、アメリカの銀行は穴

資本が足りないアメリカの銀行

ろめをしている状況です。

銀行はみんなの大切なお金を預ける場所。好き勝手なことをして「損をしてお金がなくなっちゃいましたので、おしまいになります」なんてことは許されませんね。だから、銀行はほかの会社よりも余分にお金（資本金）をもっておく決まりになっています。でも、残念なことに、アメリカの銀行はいろいろなものに投資をして大損をしてしまいました。いくら損をしたのかは、これからちゃんと発表されますが、この前のきびしい検査で、アメリカの大きな銀行の半分以上、損を穴を埋めるためのお金が足りないことが分かりました。

損の金額が大きすぎて、もっているお金ではまにあわない。これではみんなが不安になります。だからアメリカ政府は銀行にすぐにお金を増やすよう命令しました。それがいまさわがれている「資本増強」ということです。ふつうの会社ならここで「倒産」ですが、銀行は特別あつかいです。いま、アメリカの大きな銀行が倒産したら、世界経

景気が良いとき

○×銀行



景気が悪いとき

○×銀行



お金

増資

済はもっと悪くなるでしょう。だからアメリカ政府はしかたなく70兆円も準備して銀行を助けているし、日本の銀行も「資本増強」に協力してお金を出してあげているのです。

でも、銀行は民間の会社。自動車会社は倒産させたのに、銀行はみんなで助けるのは、やはり不公平じゃないか、という疑問の声もあがっています。

プロフィール 玉川大学芸術学部演劇専攻卒業後、大和証券に入社。2000年に財部誠一事務所に移籍。製造現場の取材や経営者のインタビューなどの仕事をこなす。テレビ出演、執筆、講演活動を通じて経済の情報を伝えている。

イラスト・よしとみあさみ